

DXと企業価値

—無形資産で測るDXの進展度—

広木 隆 CMA

目 次

- | | |
|-------------|---------------------|
| 1. はじめに | 4. トランスフォーメーションの可視化 |
| 2. デジタル化の指標 | 5. 終わりに |
| 3. 実証分析 | |

デジタル化の指標としてソフトウェアや組織資本などの無形資産を説明変数に用いて株価リターンとの関係を調べたところ、有意に正の関係が認められた。これは、市場がデジタル化に取り組む企業の企業価値を高く評価していることの証しと考えられる。次に、これらの変数が単なるデジタル化とDXとを識別する指標となり得るかを、CCC (Cash Conversion Cycle) とTFP (Total Factor Productivity) をトランスフォーメーションの尺度として検証したところ、組織資本、人的資本、研究開発資本はDXを測る指標となり得る可能性が示された。

1. はじめに

(1) DXの定義

DXは、単なるデジタル化ではない。Verhoef *et al.* [2021] が示したように、デジタル化はデジタイゼーション (Digitization)、デジタライゼーション (Digitalization)、デジタルトランスフォーメーション (DX) という三つの段階に分類される。総務省 [2021b] は、デジタイゼーション、デジタライゼーションについて国連開発計画 (UNDP) の定義を引用し、DXと区別している。

デジタイゼーションは、「既存の紙のプロセスを自動化するなど、物質的な情報をデジタル形式に変換すること」であり、デジタライゼーションは、「組織のビジネスモデル全体を一新し、クライアントやパートナーに対してサービスを提供するより良い方法を構築すること」である。DXについて経済産業省 [2018] は、IDC Japanの定義を引用し、「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組



広木 隆 (ひろき たかし)

マネックス証券 専門役員 チーフ・ストラテジスト。青山学院大学大学院国際マネジメント研究科非常勤講師。上智大学外国語学部卒業。神戸大学大学院経済学研究科後期博士課程修了。博士 (経済学)。国内銀行系投資顧問、外資系運用会社など様々な運用機関でファンドマネジャー等を歴任。2010年より現職。主な著書に、『ROEを超える企業価値創造』(日本経済新聞出版社、2019年、共著)、『2021年相場の論点』(日本経済新聞出版、2020年) などがある。